



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！ になれるところ

内勤めの報恩講



御伝鈔拜読



大河内氏挨拶



『蓮響十方』贈呈



お磨きの様子

9月23日から25日の日程で報恩講が勤まりました。感染症拡大防止のため本来であればご門徒の皆様に参加いただき勤めるところですが、内勤めとさせていただきます。また報恩講期間中に、御影道中に縁の有る方々の感動・感謝の言葉によって綴られている『蓮響十方』（御影道中協力会編集）が、校正・編集・発行に深く関わって来られた大河内肇氏（南越前町在住）により吉崎別院に贈呈されました。それに応え、別院輪番は感謝状と記念品を授与し、「これからも宗祖親鸞聖人の教えを共に聞き、歩みの道標として大事に使わせてもらいます。」とお礼の言葉を述べました。

お荘厳を整える

9月20日、別院とご縁の深いお同行が、山門や本堂に紋幕・五色幕を張る作業や、堂内・館内の清掃などに汗を流しました。約二時間にも及ぶ奉仕活動となりましたが、気持ち新たに、真宗寺院にとって一番大切な報恩講をお迎えします。